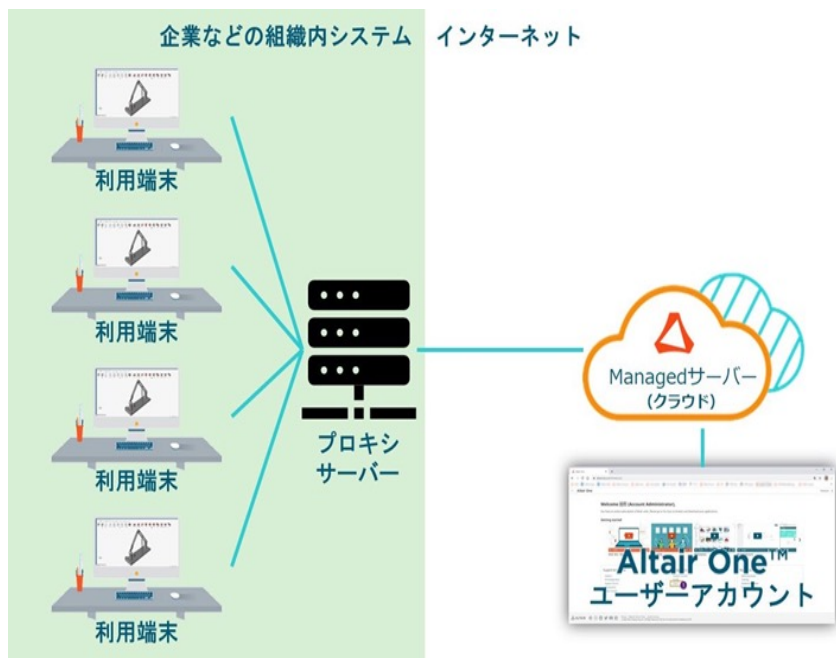


オンプレミスサーバーの利用 ver10.1

ー 自社でライセンスサーバーを立て、RapidMinerにアルテアライセンスを適用する ー

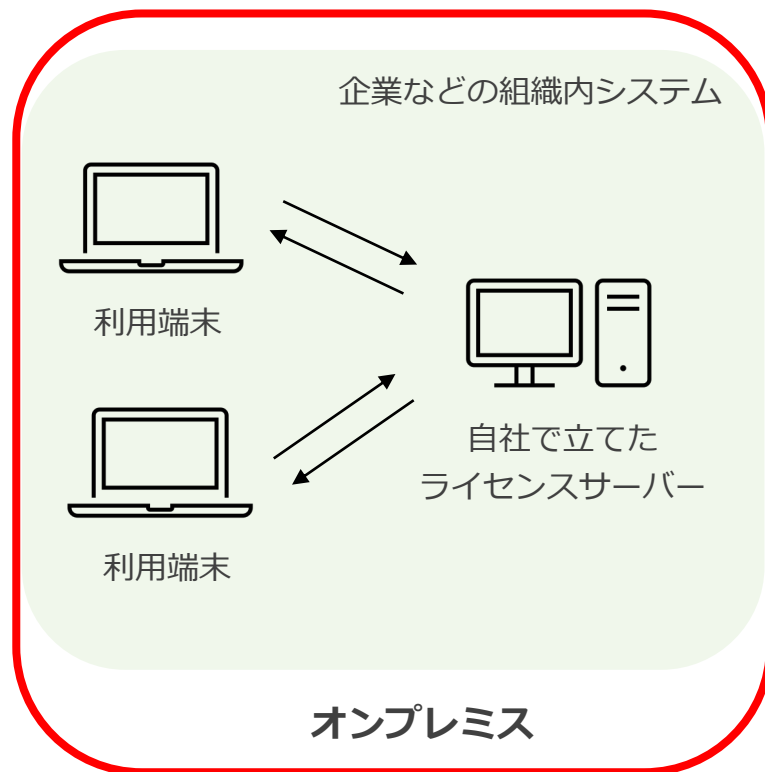
はじめに

この資料では、自社でライセンスサーバーを立てる、**オンプレミスサーバー**でアルテアライセンスを使用する方法について説明します。
ライセンスサーバーにアルテア社のものを使用する場合は、別資料をご覧ください。
(どちらのタイプかは、契約時に決めます。)



Managedライセンス
(別資料で説明)

この資料で説明するもの



オンプレミス

アルテアライセンスについて

Ver10.1より、RapidMinerはアルテアライセンスで動作するようになりました。
RapidMiner Studioでは、基本的に**20 Units**を使用します。

この後の操作では、以下を使用します。

- RapidMiner Studio ver10.1以降
- Altairライセンスファイル (altair_lic.datファイル)

手順

1. ライセンスの申請 p5
2. サーバーを立てる p10
3. RapidMiner Studioの起動 p17
 1. Windowsの場合
 1. 環境変数の設定
 2. RapidMiner Studioの起動
 2. Mac OSの場合
 1. 環境変数の設定
 2. RapidMiner Studioの起動
4. 補足 p27
 - Unit数が足りないとどうなるか？
 - レガシーのRapidMinerのライセンスを使用できるか？
 - 使用しているUnits数はどこで確認できるか
 - 通信ポートやログファイルの出力先は、どこで変更できるか
 - Managedサーバーとオンプレミスサーバーを使い分けられるか
 - 使用量レポートについて

手順

1. ライセンスの申請 p5
2. サーバーを立てる p10
3. RapidMiner Studioの起動 p17
 1. Windowsの場合
 1. 環境変数の設定
 2. RapidMiner Studioの起動
 2. Mac OSの場合
 1. 環境変数の設定
 2. RapidMiner Studioの起動
4. 補足 p27
 - Unit数が足りないとどうなるか？
 - レガシーのRapidMinerのライセンスを使用できるか？
 - 使用しているUnits数はどこで確認できるか
 - 通信ポートやログファイルの出力先は、どこで変更できるか
 - Managedサーバーとオンプレミスサーバーを使い分けられるか
 - 使用量レポートについて

申請時に必要なもの

オンプレミスサーバーでライセンスを使用する場合は、申請時に以下が必要です。

- OS
- デバイス名
- ホストID
- ホストタイプ (ホストIDの確認の際に、一緒に確認できます)

OSについて

2023年5月現在(ver15.2)、ライセンスサーバーのサポートOSは以下になります。

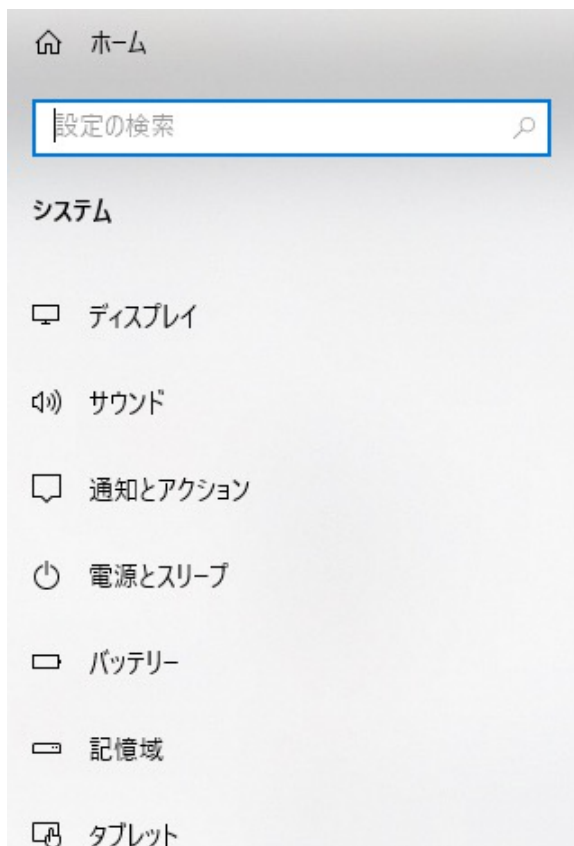
Officially Supported Platforms:

Platform		Package Name
OS	Architecture	
Windows 7, 8.1, 10, 11, Server 2008R2, 2012, 2016, 2019, 2022	x86_64	altair_licensing_<version>.win64_x64.exe
RHEL 7, 8, 9	x86_64	altair_licensing_<version>.linux_x64.bin
CentOS 7, 8	x86_64	altair_licensing_<version>.linux_x64.bin
SLES 11, 12, 15	x86_64	altair_licensing_<version>.linux_x64.bin
macOS 11, 12, 13	x86_64	altair_licensing_<version>.darwin_universal.zip

デバイス名の確認

コンピュータの名前を入力してください。

例)



詳細情報

お使いの PC は監視されており、保護されています。

[Windows セキュリティで詳細を確認する](#)

デバイスの仕様

デバイス名

完全なデバイス名

プロセッサ

11th Gen Intel(R) Core(TM) i7-11850H @ 2.50GHz
2.50 GHz

実装 RAM

32.0 GB (31.7 GB 使用可能)

デバイス ID

プロダクト ID

システムの種類

64 ビット オペレーティング システム、x64 ベース プロセッサ

ペンとタッチ

このディスプレイでは、ペン入力とタッチ入力は利用できません

ホストIDの確認

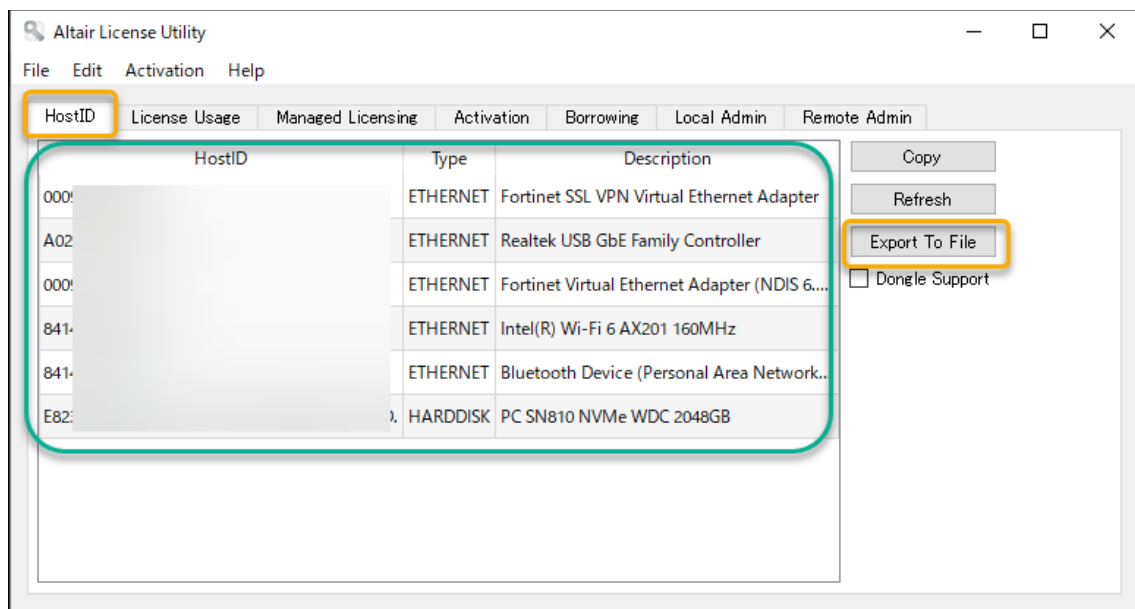
① 以下のリンクより、ご使用のOSに応じたホストID確認用プログラムをダウンロードします

https://community.altair.com/csm?id=kb_article_view&sysparm_article=KB0117303&sys_kb_id=6fe2addc1bf70114c4dfdbd9dc4bcb9d&spa=1

② ファイルを展開します

③ 「almutil_gui」を実行します

④ 「HostID」タブでホストIDを確認できます



申請には、この内の1つを使用します。

複数表示される場合は、常に参照できるホストID(VPNやBluetoothなど利用環境によって参照できない可能性のあるホストIDを避けて)を申請に使用してください。

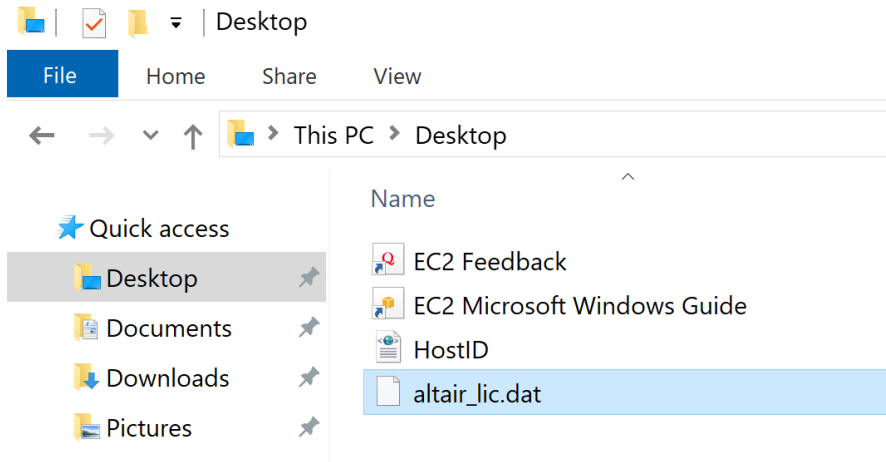
どのホストIDかわからない場合は、「Export to File」ボタンで生成されるテキストファイルを申請時に添付してください。

手順

1. ライセンスの申請 ----- p5
2. サーバーを立てる ----- p10
3. RapidMiner Studioの起動 ----- p17
 1. Windowsの場合
 1. 環境変数の設定
 2. RapidMiner Studioの起動
 2. Mac OSの場合
 1. 環境変数の設定
 2. RapidMiner Studioの起動
4. 補足 ----- p27
 - Unit数が足りないとどうなるか？
 - レガシーのRapidMinerのライセンスを使用できるか？
 - 使用しているUnits数はどこで確認できるか
 - 通信ポートやログファイルの出力先は、どこで変更できるか
 - Managedサーバーとオンプレミスサーバーを使い分けられるか
 - 使用量レポートについて

サーバーを立てる

- ① ライセンスファイルをサーバーの任意の場所に配置します (以下はデスクトップの例)



- ② Altair Oneにログインし、Marketplaceへ向かいます

Altair One

<https://altairone.com/Dashboard>

Additional Services ▾

Support & Services

Community & Support

Marketplace

Altair Connect

Manage Account

Managed Licenses

Profile

Users

Resources

Online Help

Learning Center

Academic Program

Resource Library

YouTube

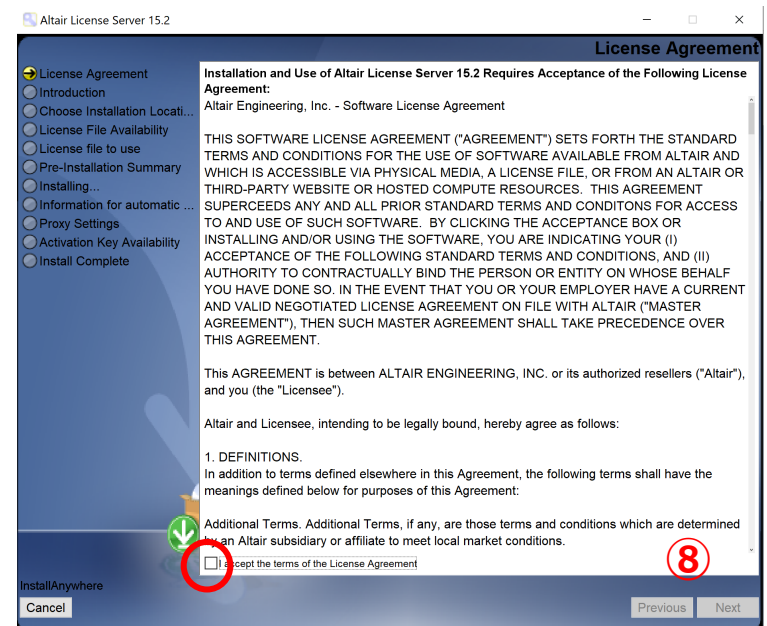
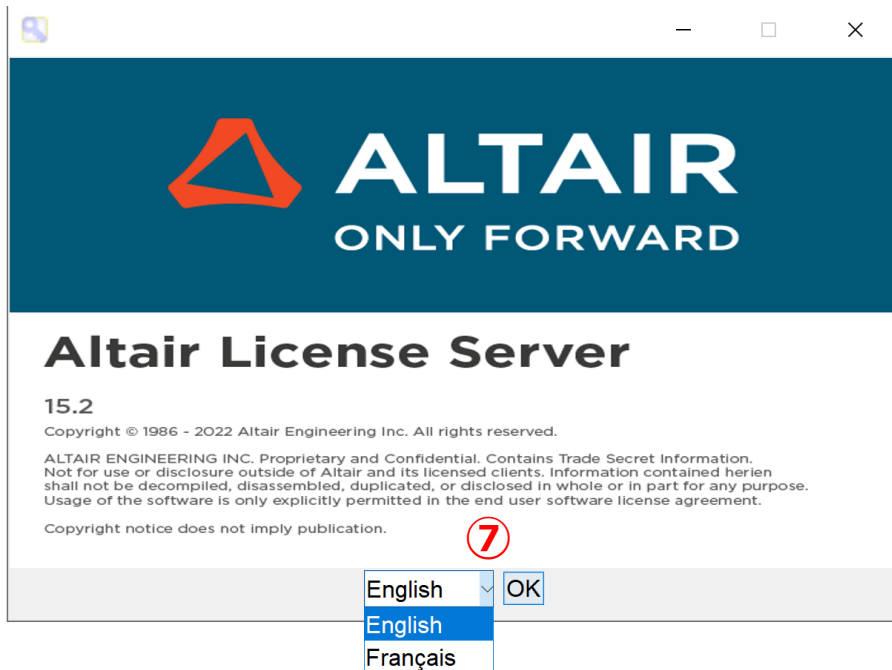
サーバーを立てる

- ③ 左のカテゴリより、Product Groups > Data Analyticsを選択します
- ④ RapidMinerを選択し、Try Buyをクリックします
- ⑤ License Managerタブに移動し、ご使用のOSに合ったインストーラーをダウンロードします。

The screenshot displays the Altair One website interface. On the left, the 'Product Groups' menu is expanded, and 'Data Analytics' is selected, indicated by a red circle and the number 3. In the main content area, the 'RapidMiner Studio' card is visible, with its 'Try / Buy' button highlighted by a red circle and the number 4. A red arrow points from this button to the 'License Manager' page on the right. On the License Manager page, the 'License Manager' tab is selected, indicated by a red circle and the number 5. The page shows the 'RapidMiner Studio by Altair' product details, including the latest version (10.1.1), release date (Jan 31, 2023), and a list of license managers for various operating systems (Windows 7, 8.1, 10, 11, Server 2008, etc.).

サーバーを立てる

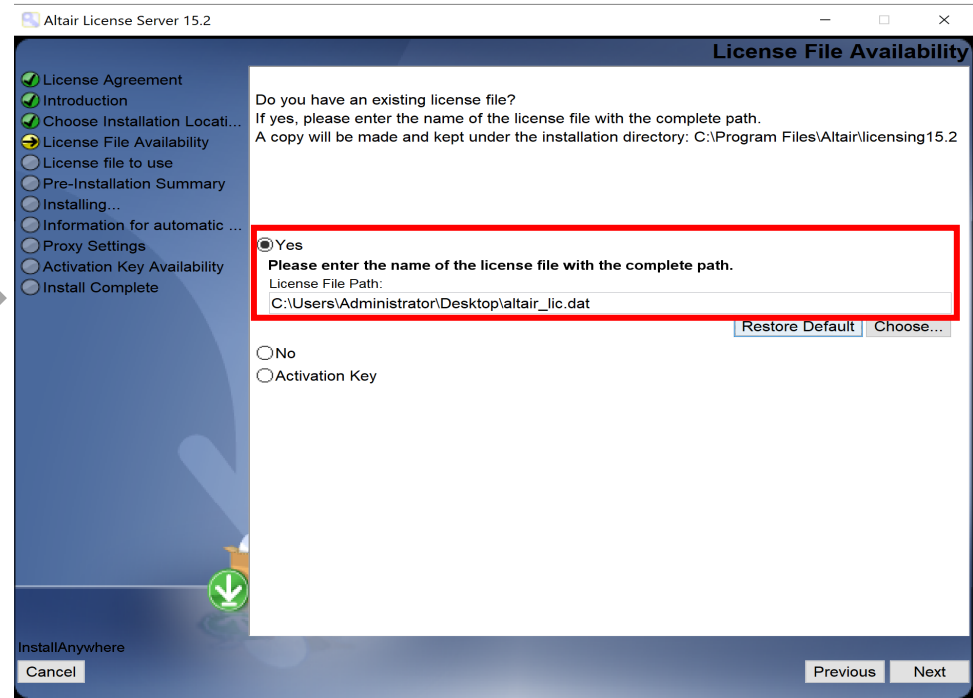
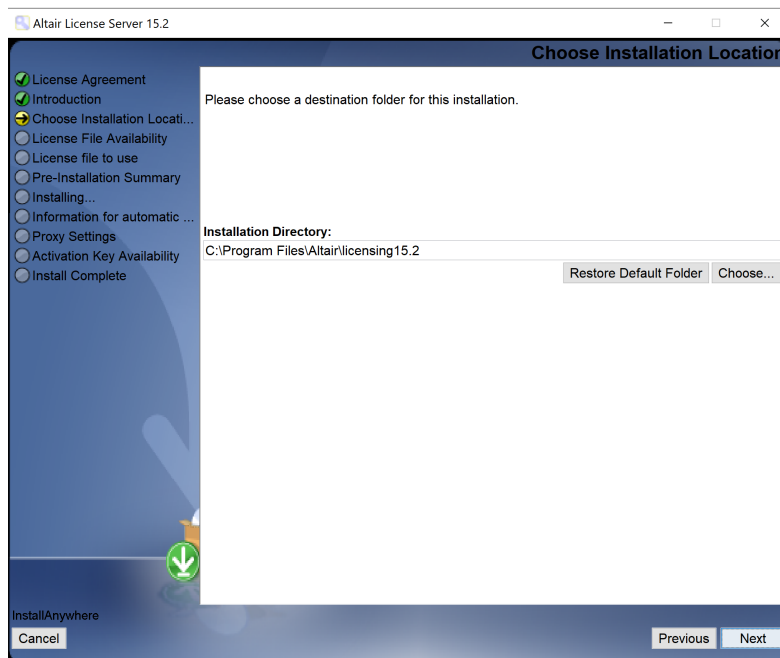
- ⑥ ダウンロードしたインストーラーを解凍し、ファイルを実行します
- ⑦ 立ち上がれば、OKボタンを押してダイアログを進めます
- ⑧ License Agreementを下までスクロールし、同意してNextをクリックします



サーバーを立てる

⑨ インストールディレクトリを設定し、Nextをクリックします

⑩ Yesを選択し、①でライセンスファイルを置いた場所のパスを入力し、Nextをクリックします



デフォルトパス

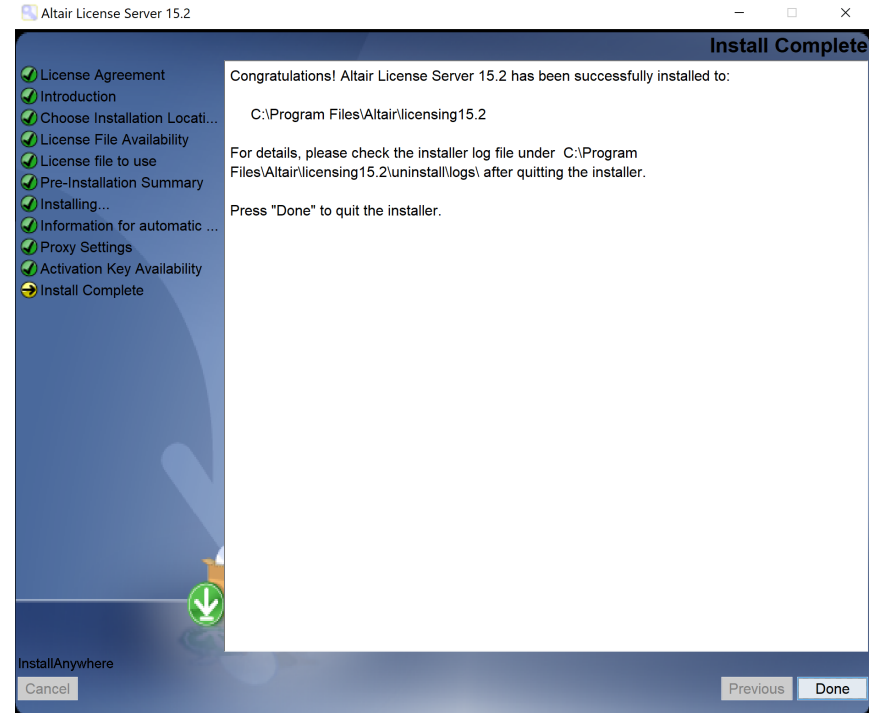
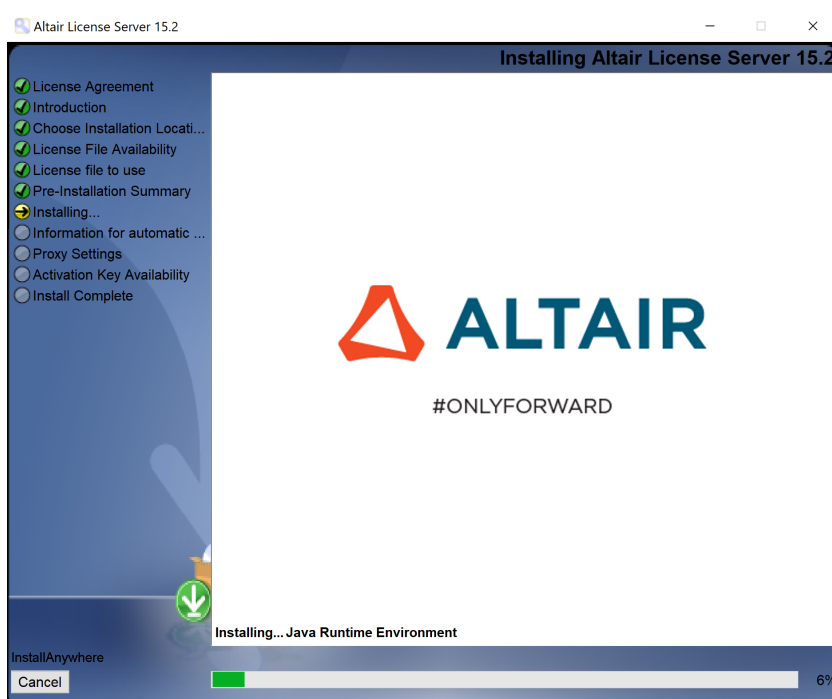
Windows: C:\Program Files\Altair\licensing15.x

Linux: /usr/local/altair/licensing/15.x

例) C:\Users\Administrator\Desktop\altair_lic.dat

サーバーを立てる

- ⑪ インストールサマリーが表示されます。確認後、Installをクリックしてインストールを開始します
- ⑫ Doneをクリックし、インストールを終了します



サーバーを立てる

⑪で、プロキシ等でライセンスサーバーがインターネットへアクセスできない場合は、「Automated Usage Reporting」が表示されます。

ライセンスの使用量ログを自動送信する場合は、Yesをクリックし、必要なプロキシ情報を入力してください。
(p32にも補足があります)

手順

1. ライセンスの申請 ----- p5
2. サーバーを立てる ----- p10
3. **RapidMiner Studioの起動** ----- **p17**
 1. **Windowsの場合**
 1. 環境変数の設定
 2. RapidMiner Studioの起動
 2. **Mac OSの場合**
 1. 環境変数の設定
 2. RapidMiner Studioの起動
4. 補足 ----- p27
 - Unit数が足りないとどうなるか？
 - レガシーのRapidMinerのライセンスを使用できるか？
 - 使用しているUnits数はどこで確認できるか
 - 通信ポートやログファイルの出力先は、どこで変更できるか
 - Managedサーバーとオンプレミスサーバーを使い分けられるか
 - 使用量レポートについて

RapidMiner Studioの起動

この先の操作はOSによって手順が少し異なるので、ご利用のOSの手順で設定してください。

- Windows → p19 ~
- Mac OS → p24 ~

なお、どの端末でも以下の操作を行っています。

1. 環境変数の設定
2. RapidMiner Studioの起動

環境変数の設定 (Windowsの場合)

環境変数の
設定

RapidMiner
Studioの起動

ライセンスサーバーと通信するために、端末に環境変数を設定する必要があります。
ここでは例として、Windows11の方法を紹介します。

- ① スタートボタンを右クリックし、「設定」を起動します
- ② システム > バージョン情報 を選択します
- ③ システムの詳細設定 を選択します

The image shows a sequence of three screenshots illustrating the steps to reach the System Information settings in Windows 11:

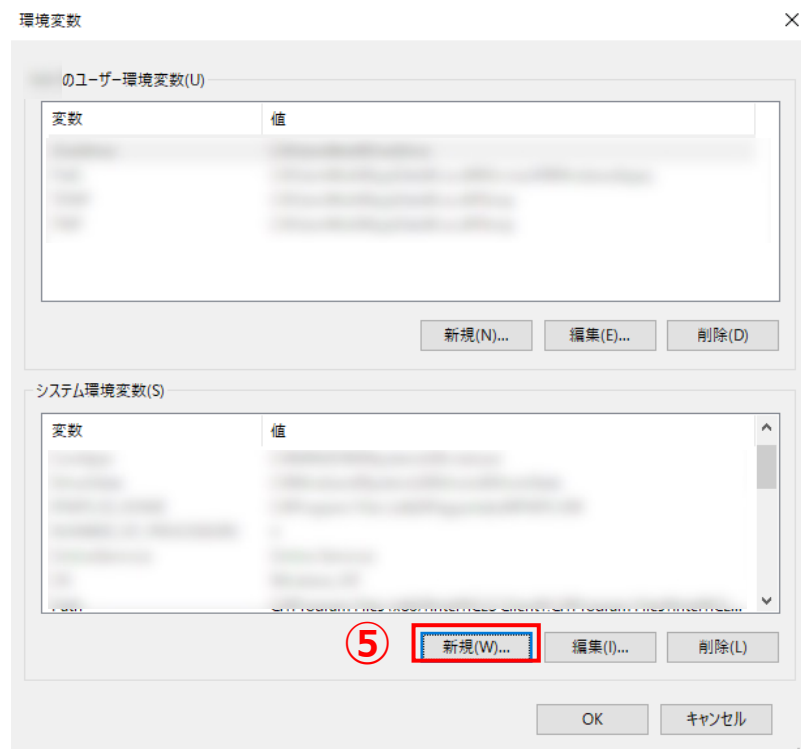
- Step 1:** The Start menu is open, and the '設定' (Settings) app is highlighted with a red box and a circled '1'.
- Step 2:** The Windows Settings app is open to the 'システム' (System) page. The 'バージョン情報' (About) option is highlighted with a red box and a circled '2'.
- Step 3:** The 'バージョン情報' page is open, and the 'デバイスの仕様' (Device specifications) section is expanded. The 'システムの詳細設定' (Advanced system settings) link is highlighted with a red box and a circled '3'.

環境変数の設定 (Windowsの場合)

環境変数の
設定

RapidMiner
Studioの起動

- ④ 環境設定 をクリックします
- ⑤ システム環境変数 の 新規 をクリックします



環境変数の設定 (Windowsの場合)

環境変数の
設定

RapidMiner
Studioの起動

⑥ 以下のように環境変数を設定します

変数名: ALTAIR_LICENSE_PATH

変数値: 6200@<ライセンスサーバー名またはライセンスサーバーのIPアドレス>

システム変数の編集

⑥

変数名(N): ALTAIR_LICENSE_PATH

変数値(V): 6200@

ディレクトリの参照(D)... ファイルの参照(F)... OK キャンセル

環境変数の設定 (Windowsの場合)

環境変数の
設定

RapidMiner
Studioの起動

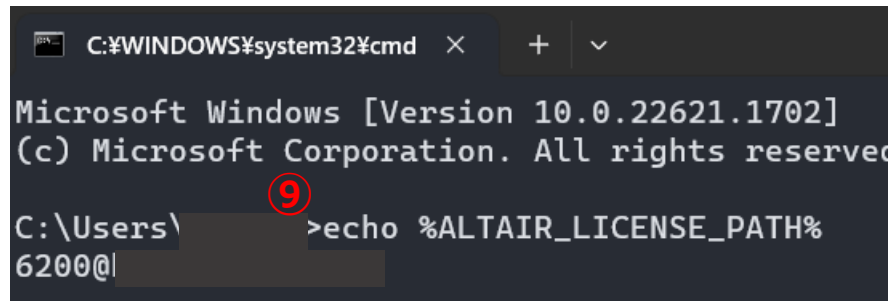
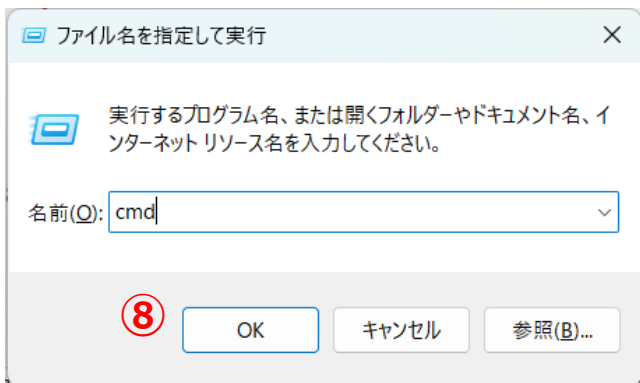
⑦ すべてのダイアログで「OK」を押して、ダイアログを閉じます。(おそらく計3回)

⑧ (オプション) 環境変数が設定できたか確認します。

「Win」 + 「R」 キーで開いたダイアログに、「cmd」と入力して、コマンドプロンプトを開きます。
以下のように入力し、⑥で設定した変数値が返ってくるか確認します。

```
echo %ALTAIR_LICENSE_PATH%
```

もし「6200@<ライセンスサーバー名orIPアドレス>」のように返ってこなければ、PCを再起動して、再度確認してみてください。



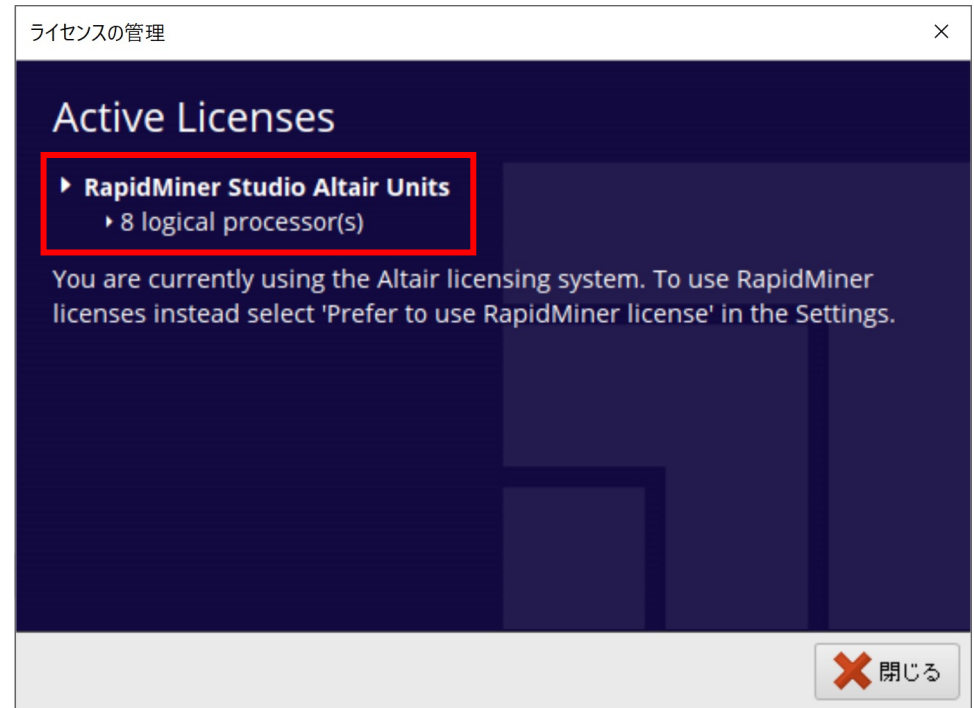
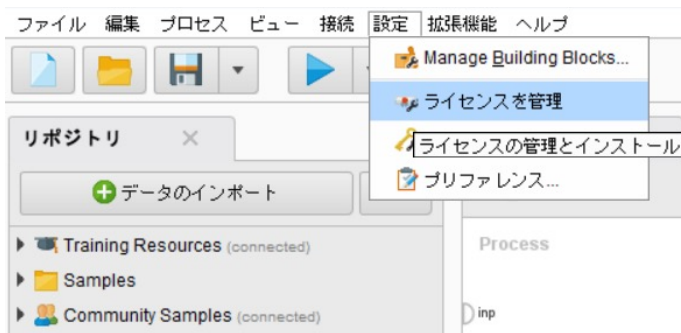
「6200@~」と返ってきているので、OK！

Studioの起動（Windowsの場合）

環境変数の
設定

RapidMiner
Studioの起動

環境変数も設定できれば、RapidMiner Studioのアプリケーションを起動します。
起動後、RapidMiner Studio上部ツールバーの「設定」 > 「ライセンスを管理」より、
Altair Unitsの表記があれば、アルテアライセンスで起動できています。



環境変数の設定 (Mac OSの場合)

環境変数の
設定

RapidMiner
Studioの起動

環境変数の設定は、ターミナルでコマンドを実行します。

①, ②の手順で環境変数を編集します。

※まずterminal.appを開きます。

(command + スペースキーで Spotlight検索を開き, 「terminal」と入力)

① 以下のコマンドを実行して環境変数を設定します

(<hostname or IP address>には、ライセンスサーバーのサーバー名またはIPアドレスを入力してください)

```
echo 'export ALTAIR_LICENSE_PATH=6200@<hostname or IP address>' >> ~/.zshrc
```

② 以下のコマンドを実行して環境変数を反映させる

```
source ~/.zshrc
```


Studioの起動（Mac OSの場合）

環境変数の
設定

RapidMiner
Studioの起動

Ver10.1の場合、Altairライセンスを使用するには**ターミナルから起動**させてください。

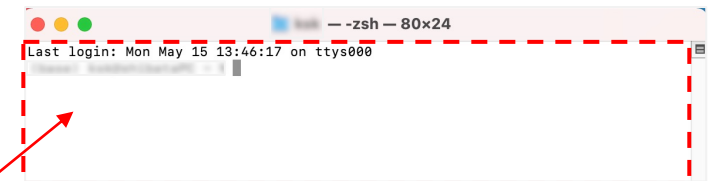
（ソフトの不具合で、今後アプリケーションから起動できるよう改修予定です。）

Altairライセンスを適用したRapidMiner Studioの起動方法

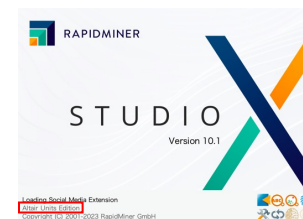
①ターミナルを起動（command + スペースキーで Spotlight検索を開き「terminal」と入力、terminal.appを開く）

②アプリケーション> RapidMiner Studio を右クリック> パッケージの内容を表示> Contents> Resources>

RapidMiner-Studio-App をコマンドプロンプトにドラッグ&ドロップします。



ドラッグ&ドロップした後、EnterキーをクリックするとAltairライセンス適用のRapidMiner Studioが起動します。



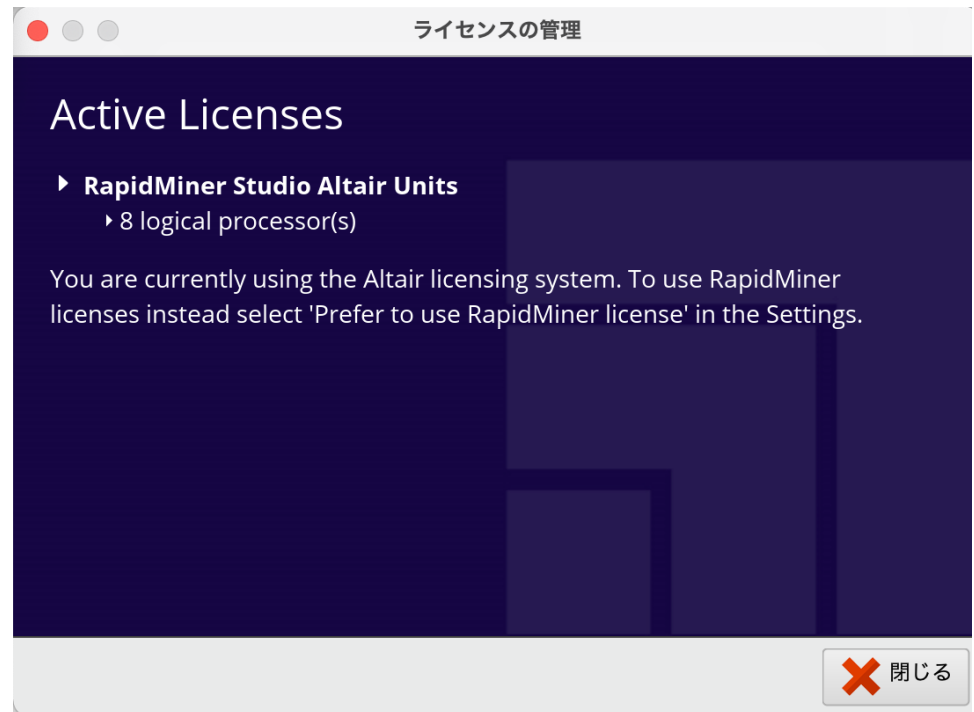
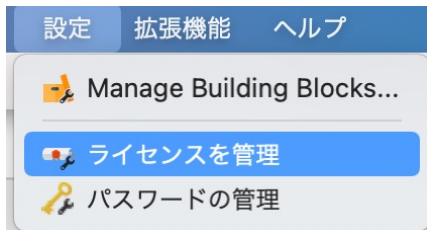
起動中、左のような画面が表示されます。画面左下には、「Altair Units Edition」と記載があります。

Studioの起動（Mac OSの場合）

環境変数の
設定

RapidMiner
Studioの起動

RapidMiner Studioの起動後、Altairライセンスの適用に成功すると表記が右のように変わります。
RapidMiner Studio上部ツールバーの 設定 > ライセンスを管理



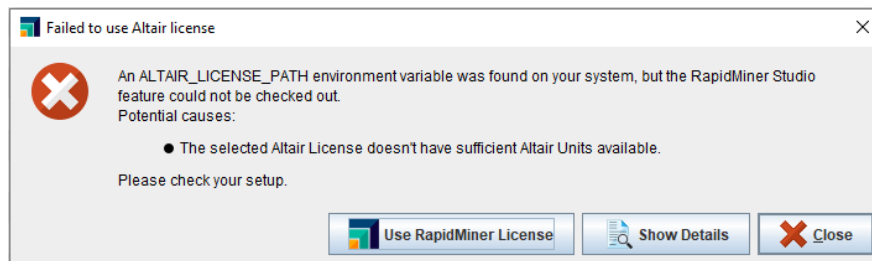
手順

1. ライセンスの申請 ----- p5
2. サーバーを立てる ----- p10
3. RapidMiner Studioの起動 ----- p17
 1. Windowsの場合
 1. 環境変数の設定
 2. RapidMiner Studioの起動
 2. Mac OSの場合
 1. 環境変数の設定
 2. RapidMiner Studioの起動
4. 補足 ----- p27
 - Unit数が足りないとどうなるか？
 - レガシーのRapidMinerのライセンスを使用できるか？
 - 使用しているUnits数はどこで確認できるか
 - 通信ポートやログファイルの出力先は、どこで変更できるか
 - Managedサーバーとオンプレミスサーバーを使い分けられるか
 - 使用量レポートについて

補足

■ Unit数が足りないとどうなるか？

右のようなエラーメッセージが表示されます。

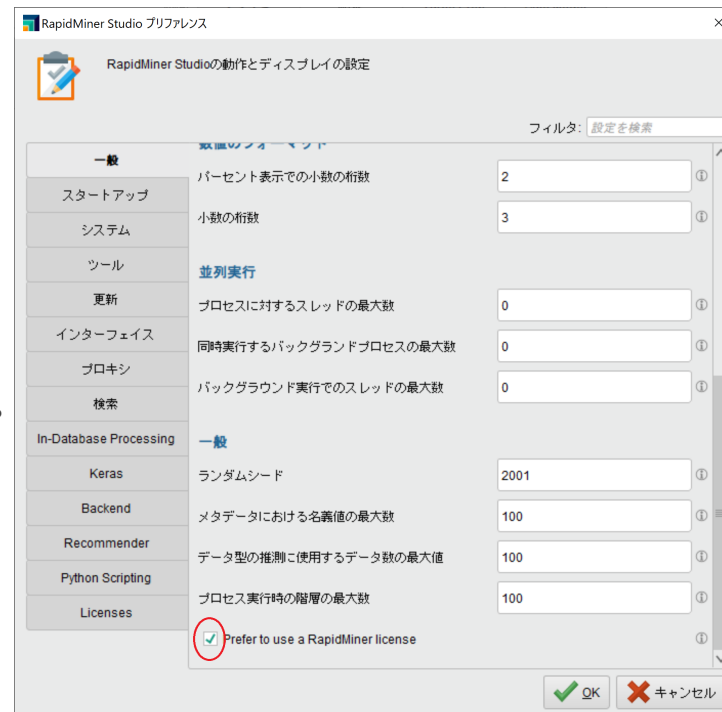


■ レガシーのRapidMinerのライセンスを使用できるか？

設定 > プリファレンス > 一般 より、

Prefer to use a RapidMiner licenseにチェックを入れて再起動すると、レガシーのRapidMinerライセンスを使用することができます。

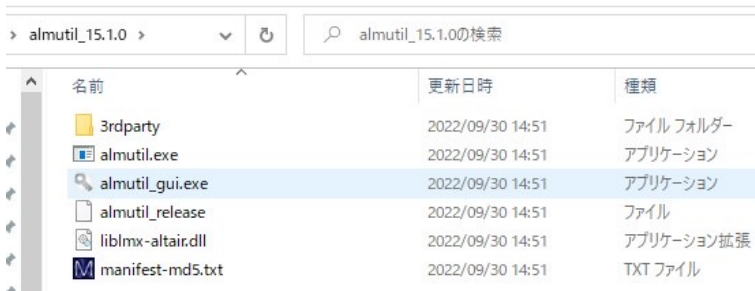
Macの場合は 設定 > Preferences > License より設定する。



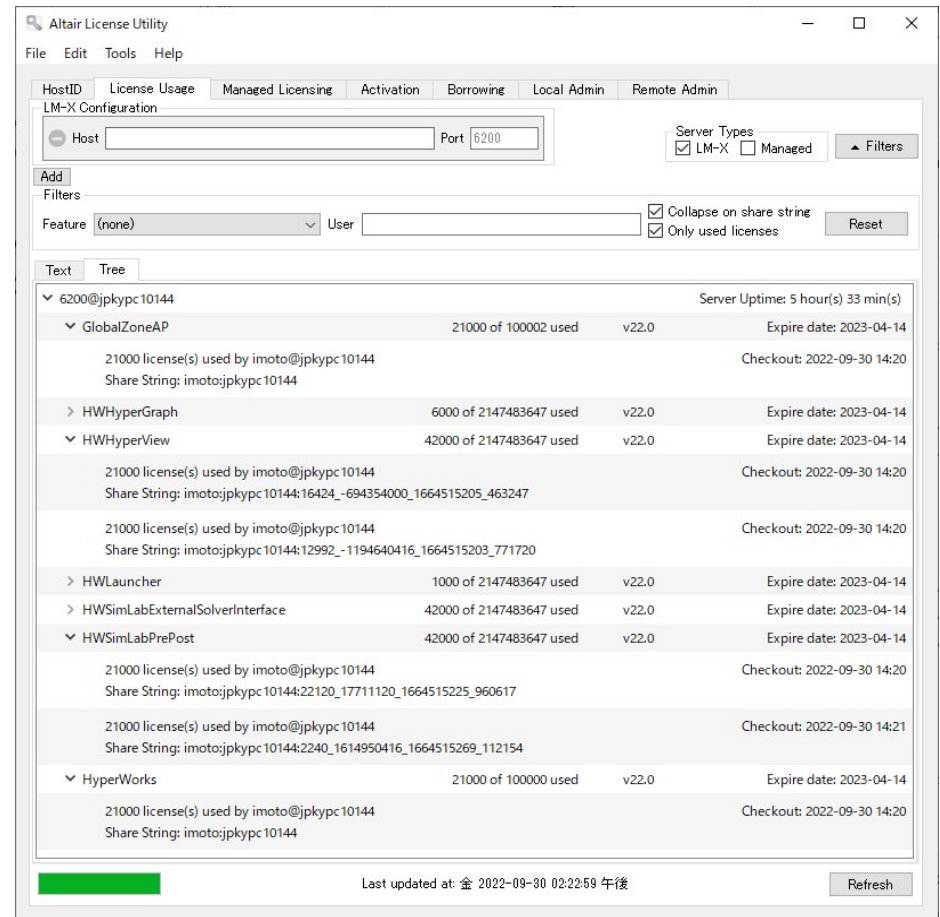
補足

■ 使用しているUnits数はどこで確認できるか

Altair License Utility((almutil_gui)のLicense Usageタブで確認可能です。



名前	更新日時	種類
3rdparty	2022/09/30 14:51	ファイル フォルダ
almutil.exe	2022/09/30 14:51	アプリケーション
almutil_gui.exe	2022/09/30 14:51	アプリケーション
almutil_release	2022/09/30 14:51	ファイル
liblmx-altair.dll	2022/09/30 14:51	アプリケーション拡張
manifest-md5.txt	2022/09/30 14:51	TXT ファイル



Altair License Utility

File Edit Tools Help

HostID License Usage Managed Licensing Activation Borrowing Local Admin Remote Admin

LM-X Configuration

Host: [] Port: 6200 Server Types: LM-X Managed Filters

Add

Filters: Feature: (none) User: [] Collapse on share string Only used licenses Reset

Text Tree

6200@jpkypc10144 Server Uptime: 5 hour(s) 33 min(s)

- GlobalZoneAP 21000 of 100002 used v22.0 Expire date: 2023-04-14
21000 license(s) used by imoto@jpkypc10144 Checkout: 2022-09-30 14:20
Share String: imoto:jpkypc10144
- HWHyperGraph 6000 of 2147483647 used v22.0 Expire date: 2023-04-14
- HWHyperView 42000 of 2147483647 used v22.0 Expire date: 2023-04-14
21000 license(s) used by imoto@jpkypc10144 Checkout: 2022-09-30 14:20
Share String: imoto:jpkypc10144:16424_-694354000_1664515205_463247
- 21000 license(s) used by imoto@jpkypc10144 Checkout: 2022-09-30 14:20
Share String: imoto:jpkypc10144:12992_-1194640416_1664515203_771720
- HWLauncher 1000 of 2147483647 used v22.0 Expire date: 2023-04-14
- HWSimLabExternalSolverInterface 42000 of 2147483647 used v22.0 Expire date: 2023-04-14
- HWSimLabPrePost 42000 of 2147483647 used v22.0 Expire date: 2023-04-14
21000 license(s) used by imoto@jpkypc10144 Checkout: 2022-09-30 14:20
Share String: imoto:jpkypc10144:22120_17711120_1664515225_960617
- 21000 license(s) used by imoto@jpkypc10144 Checkout: 2022-09-30 14:21
Share String: imoto:jpkypc10144:2240_1614950416_1664515269_112154
- HyperWorks 21000 of 100000 used v22.0 Expire date: 2023-04-14
21000 license(s) used by imoto@jpkypc10144 Checkout: 2022-09-30 14:20
Share String: imoto:jpkypc10144

Last updated at: 金 2022-09-30 02:22:59 午後 Refresh

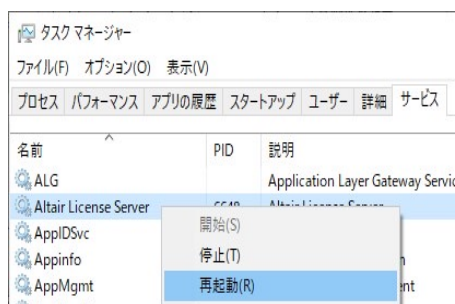
補足

■ 通信ポートやログファイルの出力先は、どこで変更できるか

各種設定は「altair-serv.cfg」に記述します。

- 通信ポート（デフォルト6200）
- ログファイルの出力先
- ライセンスファイルの場所
- 利用制限など

※記述を変更した場合、「Altair License Server」のサービス再起動が必要です。



The image shows a text editor window titled 'C:\Program Files\Altair\licensing15.1\altair-serv.cfg - MIFES 10'. The editor displays the contents of the 'altair-serv.cfg' file. Several lines are highlighted in yellow, indicating configuration changes or key settings:

- Line 28: `TCP_LISTEN_PORT = 6200`
- Line 106: `LOG_FILE = C:\Program Files\Altair\licensing15.1\logs\jpkypc10144.log`
- Line 165: `LICENSE_FILE = C:\Program Files\Altair\licensing15.1`
- Line 294: `LIMIT_USER_GlobalZoneAP 50000 = A-san B-san C-san D-san E-san`
- Line 295: `LIMIT_USER_GlobalZoneAP 42000 = F-san G-san H-san`

補足

■ Managedサーバーとオンプレミスサーバーを使い分けられるか

ALM_HHWU環境変数を追加することで、Managedかオンプレミスかを制御することができます。

環境変数の設定内容	ライセンス取得の動作イメージ
ALM_HHWUの環境変数設定なし	オンプレミス ⇒ Managedの順にライセンス取得を試みます。
ALM_HHWU=F	オンプレミスライセンスのみ取得を試みます。
ALM_HHWU=T	Managedライセンスのみ取得を試みます。

補足

■ 使用量レポートについて

Usage Reporting Toolとは？

Altair License Manager(ALM)をインストールすると、使用量レポートをAltairに自動的に送信するツールが付属します。

自動送信のために、プロキシサーバーの設定が必要です。

License Managerインストール時にレポート送信の可否テストを自動的に行い、通信できない場合はプロキシサーバー情報の入力が必要な旨のメッセージを表示します。

インストール完了後「**alus.conf**」ファイルにプロキシサーバー情報を記述してください。

- ALUS_HTTP_PROXYHOST=<プロキシホスト>
- ALUS_HTTP_PROXYPORT=<プロキシポート番号>
- ALUS_HTTP_PROXY_USER=<ユーザー名>
- ALUS_HTTP_PROXY_PASSWORD=<パスワード>

※無効な値が記述されている場合、ライセンスサーバーサービス起動に失敗します。

自動送信が不可の場合は、C:¥Program Files¥Altair¥licensing15.2¥data¥pendingフォルダをお送りいただきます。